

「中国（上海）市場への展開」を考える

事業部流通企画課

上海市高級スーパーでの試食販売会

4月19日～5月13日の25日間、上海市浦東地区にある「シティースーパー上海」で開催された「母の日スイーツフェア」で、サツマイモ原料の菓子を中心に11品の試食販売会を実施した。



福島第一原発事故発生当初、日本食品に対する不安感もあったが、現在は、中国に輸入される日本食品は原産地証明等の添付により安全な原材料を使用し製造されているという正確な情報が伝わっているようで、日本商品に対する評価は高まっている。

試食会では、「紫芋に含まれる成分は身体に良い」という情報が普及しているため紫芋を使った商品は特に人気であった。試食した方々の大半は美味しいが価格が高いという意見で、全体的な売上は苦戦した。

輸入商品は、関税、増値税等が加わるため、日本の売価の2～2.5倍の価格で販売せざるを得ない。20元～30元（260円～400円）の価格帯の商品を購入する方が多く、手ごろな価格にするために量を少なくしても良いのではという意見もあった。

また、知名度向上に取り組み必要性を感じた。今回、同会場で大分県産の冷凍洋菓子を22元～140元（290円～1820円）で販売していたが、大分は3回目の試食販売会という事もあり、試食せずに購入する方がいたり、単価が同じ類似品であれば、鹿児島県の商品ではなく大分県のものを買う方がいたりした。

今後、手ごろな価格帯の商品や健康を意識した食材を使用した商品などを中心に、定期的な試食販売会を開催し、商品の知名度向上に努めていけば売れるのではないかと感じた。また、中国も贈答文化の国なので、売価が高くなる商品は、パッケージを工夫し贈答品用として販売することで購買率アップにつながるのではないかと思う。

航空直行便を利用したゴルフツアー客へのPR

7月4日～7日、鹿児島～上海間の航空直行便を利用したゴルフツアーが初めて催行されたのに併せ、ツアー客が滞在中、大島紬の着付け体験、および、黒牛、天然マグロ、さつま揚げ、鹿児島茶、黒酢、サ

ツマイモを使ったお菓子などの試食・試飲会を実施し、本県特産品をPRした。

大島紬の着付け体験では、女性、男性問わず大島紬の着心地を体感していただき、夫婦で着付け体験し記念撮影される方もおられるなど大変好評であった。また、鹿児島県の食品も大変好評で、サツマイモ原料の菓子については種類の多さにも驚かれる方もおられた。

7日は、当協会ブランドショップで県産品のPRを行った。今回、特別に屋久杉で作ったパターの限定販売会を実施したところ大変好評だった。



今、勢いがある中国も 商圏ととらえて ”使える新商品”の 開発を目指す

九州銘木 株式会社

屋久杉の工芸品といえは以前は床柱や欄間、大きなテーブル等が代表的だった。住宅事情が変化し、和室そのものが少なくなってきた現在。従来のものづくりでは立ち行かなくなってしまう。さらに1993年、屋久島が世界遺産に登録されると、屋久杉の全面伐採禁止が決定。原料は林野庁から割り当てられる土埋木のみになり、それもあと何年あるかわからない状況にある。屋久杉の魅力にひかれるように業界へ入った穂原剛社長は、「屋久杉をもっと身近に使うてほしい」と願い、新商品の開発に力を入れている。「アイテムが多いと商圏も広がります」。今回、高級品であるにもかかわらず大好評だった屋久杉のパターは、誕生までに2年ほど試行錯誤を重ねたものだ。開発当初、周りからはできるはずがないと言われ、協力メーカーを見つけるのにさえ苦労した。いいものに対する嗅覚や、欲しいものは何でも買うという中国人のパワーを直に感じた穂原さんは今、上海への可能性を探っているという。

- ①平成17年11月に行われたダンロップフェニックストーナメントの前夜祭での1シーン。タイガー・ウッズへ同社の屋久杉製のパターが贈られた
- ②平成18年のダンロップフェニックストーナメントで屋久杉の釣りざおをタイガー・ウッズへプレゼントしたところ、釣りが趣味のウッズは大喜び!



美しさと実戦に耐えうる硬度を兼ね備えた屋久杉のパターは世界でたった一つの品。多くの人に愛用してもらえるよう、値段には幅を持たせている

■九州銘木 株式会社

本社／鹿児島市東開町3-93

創業／昭和52年

代表者／穂原剛

事業内容／屋久杉工芸品の製造・販売

URL／<http://www.minc.ne.jp/meiboku>

また、納豆粉末などの健康食品も好評だった。

自社研究室を設置し、 伝統食・納豆の パワーを再発見！ 世界中に魅力を広める

株式会社しか屋

「海外でも納豆が健康にいいと認知されてきています。アメリカは15年前から。現在はアジア、ヨーロッパ諸国へも輸出しています」と話すのは宮之原綾子さん。海外進出は、窓口となるビジネスパートナーを原則1国1社に絞り、価格競争を防いでいる。各地の嗜好や法規制等を考慮し、パッケージデザイン等は国ごとに変更。大手と違い、小ロット対応ができるのも同社の強みだ。「各国のニーズを探るため、定期的に現地に足を運びます」。2年前は「体のために食べたいが、苦手」という声を拾った。「納豆は美容美肌・整腸・ダイエット・風邪予防等に有効だと昔からいわれてきました。それを科学的に証明することが、優れた日本食をグローバルに広めることになるはず」。早速、宮之原さんは自社研究室をつくり、納豆菌の研究に着手した。においや粘りが気にならない新商品「納豆粉末」はマレーシアでの販売がスタート、現在韓国向けも準備中だ。今回、上海からの旅行者に紹介したところ、健康に気を配る富裕層に大好評。手応えを感じている。



■株式会社 しか屋

本社／鹿児島市谷山港2-2-16

創業／昭和28年

代表者／宮之原正治

事業内容／納豆・こんにゃく・ところ

てん・くずきり等の製造および販売

URL／<http://shikaya.com/>



「花の活性水」「土壌の水」「そうじの水」など鹿児島県工業技術センターと共同開発したエコブランド商品にも納豆菌の力が活かされている



イソフラボンやナットウキナーゼ、ポリアミンを含む「納豆粉末」は小さじ1杯に納豆10パック分、「納豆カプセル」は3カプセルに納豆10パック分もの納豆菌を凝縮

今回のゴルフツアー御一行のショップ来店に伴い、中国語による商品紹介のパネルを作成し掲示したところ、商品を理解していただき、購入につながる事ができた。今後、鹿児島ー上海間の航空直行便等を利用した中国人等の来鹿が増えることが予想され、外国語での商品紹介パネルを掲示し、特産品についての理解を深めていただく事が大切だと思う。